

(1) 全体的な事項

都心部における高層建築物という地域特性と事業特性を考慮し、建築物の高さや位置の必然性を示す資料や、環境配慮設備による効果の具体的な記述を加えるなど事業内容を十分に説明すること。

(2) 大気質に関する事項

調査・予測に当たっては事業地周辺における季節変動を十分に考慮に入れ、大気質の状況を把握し、特に工事影響については工事による負荷の要因を合わせ環境負荷が最大となる時期に予測を行うこと。

(3) 電波障害に関する事項

仙台市消防局のヘリコプターテレビ電送システムにおいて、ヘリコプターからの送信に対して基地局での受信障害を生じるおそれがあるため、これについての調査・予測・評価を行うこと。

さらに、テレビ放送以外の、FM 放送や警察無線等を対象とする電波障害についてもシミュレーション等での予測を行うこと。

(4) 日照障害，風害に関する事項

建設する建物を複数案想定し、比較検討する場合においては、影響低減の具体策の検討に資するため、構造や建物の配置等の違いによる日照及び風環境に与える影響の比較も行うこと。

(5) 植物に関する事項

植物を配慮項目に加え、公開空地等の緑化の検討に当たっては、周辺に点在する公園等の緑地で野鳥や昆虫等の生息も観察されている現状にも配慮すること。

(6) 景観に関する事項

上杉山通小学校，勾当台公園からの眺望も重要と考えられるので、これらの地点を近景域の眺望地点の候補地に加えて検討を行うこと。

(7) 廃棄物等に関する事項

残土の敷地内利用の方法を検討し、これを明確にした上で、予測，評価を行うこと。